

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場会社名 株式会社 島精機製作所
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 正博
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理部長 (氏名) 田中 雅夫
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日 配当支払開始予定日 平成20年12月5日

上場取引所 東大

TEL 073-471-0511

平成20年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	33,787	—	9,512	—	8,906	—	4,965	—
20年3月期第2四半期	37,192	80.1	10,870	278.0	12,298	287.0	6,664	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	137.35	133.91
20年3月期第2四半期	188.35	173.62

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第2四半期	133,517	—	101,888	—	72.9	2,783.11
20年3月期	133,745	—	101,647	—	73.2	2,677.47

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 97,268百万円 20年3月期 97,854百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
21年3月期	—	25.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	62,000	△11.3	14,000	△13.7	15,500	△18.8	8,500	△14.6	243.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 36,600,000株 20年3月期 37,600,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,650,349株 20年3月期 1,052,466株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 36,150,840株 20年3月期第2四半期 35,383,101株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

(2) 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における経済情勢は、サブプライムローン問題を発端とする米国発の金融不安が世界の各地に波及し、不安定な為替動向や原材料価格の高騰とも相まって、高成長が続いていた新興国をも含む全世界的な景気後退が懸念される状況となりました。

このような背景の下、当社グループは従来にも増してユーザーのニーズに迅速に対応すべく、積極的な販売施策を展開しました。欧州のイタリアや中東のトルコでは売上が拡大しましたが、主力市場である中国、香港においては、米国向け繊維製品輸出の減少や人民元高、さらには金融引締めなどが影響し、設備投資を見合わせる動きが広がりました。このため当社グループのコア・ビジネスである横編機事業の売上高は292億99百万円（前年同期比10.8%減）と減少しました。

デザインシステム関連事業はアパレルデザインワークステーション「SDS-ONE」の機能を拡充し提案販売に努めたほか、コンピュータ制御自動裁断機「P-CAM」シリーズの売上が伸び、売上高は9億43百万円（前年同期比1.5%増）になりました。

手袋靴下編機事業は全般に低調な推移となり、売上高は8億9百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の全体の売上高は337億87百万円（前年同期比9.2%減）と減収となりました。利益面におきましても売上高の減少および生産台数の減少に伴う売上総利益率の低下等により、営業利益は95億12百万円（前年同期比12.5%減）となりました。経常利益は円高の進行により為替差損が発生し89億6百万円（前年同期比27.6%減）、四半期純利益は49億65百万円（前年同期比25.5%減）といずれも減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は前期末に比べ2億28百万円減少し、1,335億17百万円となりました。また純資産の額から少数株主持分を控除した自己資本の額は972億68百万円となり、自己資本比率は前期末に比べ0.3ポイント低下し72.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては法人税等の支払などの資金支出がありましたが、7億47百万円の資金の増加となりました。投資活動においては有価証券の売却などにより、15億48百万円の資金の増加となりました。また財務活動においては自己株式の取得、配当金の支払などにより、16億11百万円の資金の減少となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は236億60百万円となり、前期末に比べて10億16百万円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績見通しにつきましては、経済環境の先行き不透明感が強く、米国消費市場の低迷や人民元高ドル安など、当社の主力市場である中国、香港におけるコンピュータ横編機の設備投資に影響を与える事業環境も当面厳しい状況が続くものと予想されます。当社グループは直面する厳しい事業環境に立ち向かうため、業界最高の技術水準を結集した新製品の投入や、きめ細かいユーザーフォローの展開により世界市場において拡販を推進するとともに、尚一層のコストダウンの徹底による原価低減、経費削減を図ってまいります。

下期の業績は不透明感が強いもののニット製品の需要期を控えた時期でもあり、通期の業績予想につきましては、現時点において平成20年7月31日発表の数値に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①会計処理基準に関する事項の変更

a. 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

b. 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

在外子会社等の収益及び費用については、従来、第2四半期決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更いたしました。

この変更は、全会計期間を通じた為替相場を反映している期中平均為替相場による換算を採用することにより、損益情報をより実態に即して的確に表示する目的で行ったものであります。

この結果、従来の方法に比べ、売上高は199百万円、営業利益は281百万円、経常利益は45百万円、税金等調整前四半期純利益は43百万円それぞれ増加しております。

②追加情報

有形固定資産の耐用年数の変更

平成20年度の法人税法改正に伴い、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の利用状況を勘案した結果、第1四半期連結会計期間より耐用年数の変更を行っております。

当該変更に伴う影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,588	23,068
受取手形及び売掛金	44,261	41,204
有価証券	409	3,912
たな卸資産	15,363	16,178
その他	4,822	4,779
貸倒引当金	△2,309	△2,226
流動資産合計	87,135	86,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,450	6,640
土地	10,756	10,491
その他(純額)	5,481	5,727
有形固定資産合計	22,689	22,859
無形固定資産		
のれん	9,153	9,066
その他	134	144
無形固定資産合計	9,288	9,210
投資その他の資産		
投資有価証券	7,178	7,513
その他	10,001	10,036
貸倒引当金	△2,199	△2,216
投資損失引当金	△576	△576
投資その他の資産合計	14,404	14,757
固定資産合計	46,381	46,827
資産合計	133,517	133,745
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,698	9,773
短期借入金	4,047	142
1年内返済予定の長期借入金	3,000	—
未払法人税等	3,835	7,225
賞与引当金	1,318	899
債務保証損失引当金	714	670
その他	5,401	4,654
流動負債合計	26,015	23,367
固定負債		
新株予約権付社債	2,807	2,909
長期借入金	—	3,000
退職給付引当金	1,633	1,673
役員退職慰労引当金	1,111	1,086
その他	60	60
固定負債合計	5,613	8,731
負債合計	31,629	32,098

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	22,396
利益剰余金	75,544	74,924
自己株式	△5,732	△5,322
株主資本合計	106,395	106,857
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△772	△572
土地再評価差額金	△7,392	△7,392
為替換算調整勘定	△962	△1,038
評価・換算差額等合計	△9,127	△9,003
少数株主持分	4,619	3,792
純資産合計	101,888	101,647
負債純資産合計	133,517	133,745

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	33,787
売上原価	15,727
売上総利益	18,059
販売費及び一般管理費	8,546
営業利益	9,512
営業外収益	
受取利息	342
受取配当金	57
その他	151
営業外収益合計	551
営業外費用	
支払利息	47
為替差損	1,051
その他	58
営業外費用合計	1,157
経常利益	8,906
特別利益	
固定資産売却益	128
特別利益合計	128
特別損失	
固定資産除売却損	162
特別損失合計	162
税金等調整前四半期純利益	8,872
法人税、住民税及び事業税	2,871
法人税等調整額	348
法人税等合計	3,219
少数株主利益	687
四半期純利益	4,965

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,872
減価償却費	1,104
のれん償却額	256
貸倒引当金の増減額(△は減少)	107
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	23
賞与引当金の増減額(△は減少)	417
受取利息及び受取配当金	△400
支払利息	47
為替差損益(△は益)	21
有形固定資産売却損益(△は益)	△19
有形固定資産除却損	53
売上債権の増減額(△は増加)	△2,480
たな卸資産の増減額(△は増加)	971
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,876
その他	610
小計	6,708
利息及び配当金の受取額	388
利息の支払額	△46
法人税等の支払額	△6,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	747
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△633
定期預金の払戻による収入	130
有価証券の取得による支出	△2,696
有価証券の売却による収入	6,198
有形固定資産の取得による支出	△1,576
有形固定資産の売却による収入	598
投資有価証券の取得による支出	△3
投資有価証券の売却による収入	11
営業譲受による支出	△422
その他	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,914
自己株式の取得による支出	△4,432
配当金の支払額	△1,095
その他	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	332
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,016
現金及び現金同等物の期首残高	22,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,660

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	横編機事業	デザインシステム関連事業	手袋靴下編機事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	29,299	943	809	2,733	33,787	—	33,787
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	29,299	943	809	2,733	33,787	—	33,787
営業利益	11,949	104	208	69	12,331	(2,818)	9,512

(注) 1 事業区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品等

(1) 横編機事業……………コンピュータ横編機、セミジャカード横編機

(2) デザインシステム関連事業……………コンピュータデザインシステム、ニットCADシステム
アパレルCAD/CAMシステム

(3) 手袋靴下編機事業……………シームレス手袋・靴下編機

(4) その他事業……………編機・デザインシステム用部品、ニット製品製造卸売業
修理、保守、ホテル業

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	東南アジア	欧州	北米	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	7,715	20,534	4,833	703	33,787	—	33,787
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	19,518	—	73	3	19,595	(19,595)	—
計	27,234	20,534	4,906	707	53,382	(19,595)	33,787
営業利益又は営業損失(△)	10,174	2,158	37	△456	11,914	(2,401)	9,512

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………英国・イタリア

(2) 東南アジア……………中国

(3) 北米……………米国

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	欧州	東南アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	4,917	23,530	2,813	31,260
II 連結売上高	—	—	—	33,787
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	14.6%	69.6%	8.3%	92.5%

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………イタリア・英国

(2) 東南アジア……………中国・韓国

(3) その他の地域……………ブラジル・米国・トルコ・シリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

(1) (要約) 前中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額
I. 売上高	37,192
II. 売上原価	16,836
売上総利益	20,355
III. 販売費及び一般管理費	9,484
営業利益	10,870
IV. 営業外収益	1,559
受取利息及び受取配当金	522
為替差益	947
その他	89
V. 営業外費用	132
支払利息	58
その他	73
経常利益	12,298
VI. 特別利益	—
VII. 特別損失	215
のれん償却額	162
その他	53
税金等調整前中間純利益	12,082
法人税、住民税及び事業税	4,884
法人税等調整額	△362
少数株主利益	896
中間純利益	6,664

(2) (要約) 前中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区 分	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	12,082
減価償却費	1,113
貸倒引当金の増加額	941
受取利息及び受取配当金	△522
売上債権の増加額	△1,690
たな卸資産の減少額	1,147
仕入債務の増加額	1,887
その他	806
小計	15,765
利息及び配当金の受取額	457
利息の支払額	△43
法人税等の支払額	△1,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,252
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増加額	△10
有価証券の純増加額	△5,575
有形固定資産の取得による支出	△758
有形固定資産の売却による収入	153
投資有価証券の取得による支出	△28
投資有価証券の売却による収入	32
その他	△366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,554
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	△261
自己株式の取得による支出	△14
配当金の支払額	△701
その他	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△990
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	37
V. 現金及び現金同等物の増加額	6,744
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	15,954
VII. 現金及び現金同等物の中間期末残高	22,698

(3) 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位: 百万円)

	横編機事業	デザインシステム関連事業	手袋靴下編機事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	32,837	929	998	2,427	37,192	—	37,192
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	32,837	929	998	2,427	37,192	—	37,192
営業利益	13,385	19	249	18	13,672	(2,801)	10,870

(注) 1 事業区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品等

(1) 横編機事業……………コンピュータ横編機、セミジャカード横編機

(2) デザインシステム関連事業……………コンピュータデザインシステム、ニットCADシステム
アパレルCAD/CAMシステム

(3) 手袋靴下編機事業……………シームレス手袋・靴下編機

(4) その他事業……………編機・デザインシステム用部品、ニット製品製造卸売業
修理、保守、ホテル業

(4) 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位: 百万円)

	日本	東南アジア	欧州	北米	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,930	26,317	4,132	812	37,192	—	37,192
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	24,157	6	8	—	24,172	(24,172)	—
計	30,087	26,323	4,141	812	61,364	(24,172)	37,192
営業利益又は営業損失(△)	10,972	3,695	448	△410	14,705	(3,834)	10,870

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………英国・イタリア

(2) 東南アジア……………中国

(3) 北米……………米国

(5) 海外売上高

前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位: 百万円)

	欧州	東南アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	4,103	28,850	2,107	35,061
II 連結売上高	—	—	—	37,192
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	11.0%	77.6%	5.7%	94.3%

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………イタリア・英国

(2) 東南アジア……………中国・韓国

(3) その他の地域……………ブラジル・米国・トルコ・シリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における横編機事業、デザインシステム関連事業及び手袋靴下編機事業の生産実績を示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	生産高
横編機事業	23,506
デザインシステム関連事業	738
手袋靴下編機事業	848
合計	25,093

(注) 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結会計期間における横編機事業、デザインシステム関連事業及び手袋靴下編機事業の受注状況を示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	受注高	受注残高
横編機事業	14,262	6,666
デザインシステム関連事業	930	188
手袋靴下編機事業	768	138
合計	15,961	6,993

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	販売高
横編機事業	29,299
デザインシステム関連事業	943
手袋靴下編機事業	809
その他事業	2,733
合計	33,787

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。